



2014年 第27号

ぞうえん山梨



祝 世界文化遺産登録

本栖湖と芝桜

■ごあいさつ2頁	■青年部の活動7頁
■協会の動き3頁	■平成25年度組合自主事業8頁
■各委員会報告4頁	■山梨緑化センター主催事業9頁
■山梨県景観アドバイザー近況報告5頁	■表彰等10頁
■組合の動き／協会員・組合員めぐり6頁	■会員名簿12頁

(一社)山梨県造園建設業協会・山梨県造園建設業協同組合

E-mail ● info@zo-en.or.jp
U R L ● http://www.zo-en.or.jp

E-mail ● zouenkyo@wonder.ocn.ne.jp

平素より当協会の発展のためにご尽力、ご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

当協会は、昭和51年に任意団体として創立し、平成6年に社団法人山梨県造園建設業協会として公益法人化され、その後、公益法人改革により平成25年4月1日をもって一般社団法人に移行いたしました。

(一社)造園建設業協会の目的は、造園技術の向上と健全な発展であり、環境緑化に造園建設業が深く関わり、山梨が「暮らしやすさ日本一」であると県民の誰もが実感出来るよう、地域に貢献して行くことであります。

そして我々の協会が「安心・安全」な社会の実現には欠かせない存在となるよう活動して行くこと、これが造園建設業協会の役割だと思っています。

また協会活動を通じて造園建設業の確かな未来を築いていくため、「限られた予算を有効に活用し、最大効果を生み出すこと」を協会運営の基本に据え事業を展開してまいります。

そして一般社団法人として社会貢献事業の推進にも取り組み、公益目的予算を確保しながら事業を行い「街路樹フォトコンテスト」「きづかひの森事業」「校庭芝生化事業」など、社会貢献の効果をより高めて行くため、行政機関や大学等教育機関とも連携を深め、事業効果を高め、広く県民の皆

様の評価を受ける事業を展開して行きたいと考えております。

昨年は富士山が世界文化遺産に登録され、県内外から多くの観光客が訪れ人々の関心が富士山を初めとした優れた自然景観に集まってきました。

協会では優れた自然景観を生かす意味からも身近な住宅地や歩道、街角などに緑を増やして行くかんたん緑化「まち・みどり」に取り組み、公共機関を中心に各方面に緑や緑化の大切さをアピールしてまいります。また山梨のすばらしさを全国に発信して行く全国都市緑化フェアの山梨開催に向けた誘致活動も含めて会員一同、一丸となって様々な事業に取り組んでまいります。

新体制の目玉は営業企画力の強化です。一般社団法人となった協会は若い理事一同がパワフルに行動させていただき、協会の発展や「暮らしやすさ日本一」「美しい県土づくり」の実現に努めてまいりますので、皆様方のご協力を心からお願い申しあげます。



新年明けましておめでとうございます。

平成26年の新春にあたり、組合員の皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年中は、県をはじめとする関係諸機関、諸団体の皆様方のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

私は、昨年5月の総会において理事長に選任され、新しい役員共に当組合及び組合員の事業が成長、発展するために努力する所存でございます、ご理解とご協力をお願いします。

山梨県の動きの中で大きなものとして、富士山が6月22日に関連する文化財群とともに「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」の名で世界文化遺産に登録されました、日本の文化遺産としては13件目になります。また、9月18日にはJR東海が、東京・品川－名古屋間で2027年(14年後)の開業を目指すリニア中央新幹線の環境影響評価(アセスメント)準備書を公表し、その中で詳細な走行ルートと中間駅の所在地を明らかになりました。山梨県の中間駅設置予定場所は、甲府市大津町付近との事です。

当組合で指定管理させていただいている山梨県緑化センターが平成23年9月9日県行政評価アド

バイザー会議(外部評価)の評価の結果、厳しい評価結果となり、平成26年3月末日に廃止されることが発表され、1984年に現在地に設置されてから2014年(30年間)で終わりとなります。

平成18年4月から8年間、誠心誠意で管理運営してきた施設がなくなる事は非常に残念ですが、他県の緑化センターでも廃止されており、全国的な流れの中では、やむを得ない部分もあると考えます。

これまで緑化センターの管理運営で培った経験・ノウハウ等を活用し、さらに進化させ新たな施設の指定管理者として、12月の県議会の議決を経て、「山梨県立武田の杜保健休養林」の指定管理業務を行うこととなりました。

今まで以上に組合・組合員・組合職員と共に誠心誠意管理運営をしてまいります。よろしく願いいたします。

本年も組合員の皆様方のご支援、ご協力をお願い致しますとともに、皆様方のご健勝を祈念しご挨拶いたします。



●平成25年度 第1回 定時社員総会開催 ●

平成25年5月24日(金)午後2時から、当協会会議室に於いて、出席社員30名(うち委任状による代理出席者7名、表決社員2名)を得て第1回定時社員総会が開催された。依田忠理事が司会を務め、斉藤陽一会長のあいさつがあった。その後、須田良英理事が議長に選出され直ちに審議に入った。第1号議案平成24年度決算報告について事務局説明の後、質疑に入ったが異議なしとして満場一致で承認された。第2号議案役員を選出について審議され執行部一任の後、斉藤陽一会長が執行部案を発表し、新役員が承認され別室にて理事会を開催し、会長、副会長等を次のとおり選任した。

「平成25年度役員」

会長：石原政人 副会長：依田 忠
相談役：斉藤陽一

理事：梶原陽一、串松洋一、河野嘉孝、須田良英、
堤 明伸、仲村清輝、藤原辰男
監事：辻 宏幸、若尾和成



●平成25年度・公益目的支出計画の推進継続事業 ●

協会では造園建設業の発展と造園技術の向上、社会貢献事業の推進を掲げ、毎年470万円余の公益目的予算を確保し事業を行う計画で、こうした社会貢献事業の効果をより高めて行くため、行政機関や大学等教育機関とも連携を深め、事業効果を高め、広く県民の評価を受ける事業を展開して行きます。

- 街路樹フォトコンテストの開催
- 都市緑化フェア山梨県開催に向けての活動
- 校庭の芝生化への取り組み
- 公園リニューアル事業への取り組み
- 街路樹剪定士の認定試験の実施

- 造園に関する技術講習会の実施
- 山梨県景観アドバイザー事業
- 造園CPD制度(継続教育)の推進
- 街路樹マップの整備
- かんたん緑化「まち・みどり」
- ※ 総務委員会(街路樹フォトコンテスト・ホームページ等広報事業)
- ※ 技術委員会(かんたん緑化「まち・みどり」、きづかひの森事業、街路樹剪定士関係事業)
- ※ 事業委員会(校庭芝生化事業・植栽基盤診断事業)

●全国造園フェスティバル2013事業に参加 ●



(一社)日本造園建設業協会主催の「全国造園フェスティバル2013事業」が全国各地で開催されたが、当協会では10月26日(土)・27日(日)の両日、山梨県緑化センターにおいて開催した。

同日は(一社)山梨県造園建設業組合主催の「緑の感謝祭」も開催され、この祭りに協力する形で参加する一方、会場にコーナーを設けて普及啓発のチラシや花の種の配布を行った。

お知らせ

代表者の変更

(有)敷島緑化土木 代表取締役 石 水 通 由
就 任 平成25年9月7日

代表者の変更

(有)窪田造園 代表取締役 窪 田 司
就 任 平成25年10月22日

各委員会報告

かんたん緑化『まち・みどり』私達はこう考えます……

もっと簡単に生活空間へ多くの『みどり』を増やせないでしょうか？ 私達が日々生活を送る生活空間には、まだまだ『みどり』が足りません。もっと『みどり』が必要です。

当造園建設業協会では、個人の庭園や企業の緑地から公共の公園、街路樹まで様々な緑化にかかわる整備や維持管理に携わってきております。生き物である植物を扱う造園建設業のノウハウを生かし、街なかの身近な公共空間に緑を増やし、優れた景観を作り出す、かんたん緑化として「まち・みどり」提案をして、協会の社会貢献事業として予算を確保し、試作品の一部を県庁防災新館に展示しているところであります。



従来の草花プランターを設置するよりも緑化面積（視緑地率）を増やすことができ、景観的にも非常に優れたものです。この『まち・みどり』を日常の生活空間へ取り入れることにより、更により多くの方々の心へ癒しや潤いを与えることができ更には、この『まち・みどり』を増やしていくことで深刻化される温暖化防止策の1つになると考えています。

生活空間の空きスペースへ今まで以上に『みどり』を増やし有効利用することにより、より多くの人々の日々目にする身近な『みどり』が増え、これが「美しい県土づくり」「暮らしやすさ日本一」への実現へつながっていくと考えます。



県庁防災新館入口に設置された、かんたん緑化「まち・みどり」の試作品

これは立方体の緑化ウォールを利用して側面4面と上面の5面に植物を植栽して緑化を行うもので、狭い場所から広い場所へも設置が可能であり、様々な形状に対応できます。また軽量土壌を使用するため移動も簡易的にできます。常緑系植物ばかりでなく紅葉系植物や季節の花々の植栽が可能で、その場所にあったかんたん緑化「まち・みどり」を提案しています。



校庭緑化事業……………

本年事業委員会では、校庭芝生化の推進、植栽基盤診断の実施、公園リニューアルの3つのテーマの元に活動しています。校庭芝生化においては、富士吉田市内の2校に施工し、その後灌水・施肥などの管理を行って頂き、現在WOS（ウインターオーバーシード）の発芽し青々としています。現在養生が終わり開放しています。休み時間には生徒たちが芝生の上で遊んでいる光景は、とてもうれしく思います。

また他の事業につきましては現在検討中ですので、またご報告させていただきます。



子どもたちも手伝って一生涯命種まきをしました。



すっかり緑になりました。校庭で元気に遊んでいます。

山梨県景観アドバイザー近況報告

景観アドバイザー会議への取り組みについて 山梨県景観アドバイザー 大塚 広夫

※今年度は景観アドバイザー会議の出席、県職員向け研修会の講師を行った。

- 平成 25 年 9 月 18 日
- 対象事業：急傾斜崩壊地対策事業 波木井
対象地の見え方、倒木の危険性、施工時の既存樹や既存植生に対する考え方、有用木、景観木、低木類などの確認、景観に配慮した管理についてなど検討した。
- 平成 25 年 9 月 27 日
- 対象事業：道路改良事業 新環状・緑が丘アクセス線
公園を分断する道路としての配慮、公園の緑地からの連続性の維持、街路樹の植え替え等検討した。

※山梨県建築職員研修会において景観に配慮した植栽や緑化に関する講習会を実施



- 平成 25 年 11 月 28 日防災新館 3 階会議室
- 県建築関係職員向けに景観と樹木をテーマにした講師 樹種の選定や地域性、植栽基盤、維持管理等について解説した。講義後の質問では「公共工事で工期が2月や3月になることが多いが、植栽に関する留意点について」、「植物を管理していく上での調査や図面の作り方」など多くの質疑をいただいた。また、富士山の世界遺産登録に伴って地域の景観をどのように守っていくのかなど意見交換もできた。景観や植物に関しては多くの職員が関心を持っており、定期的に今

回のようなセミナーを実施していくことでさらなる連携や情報交換が図られていくだろう。

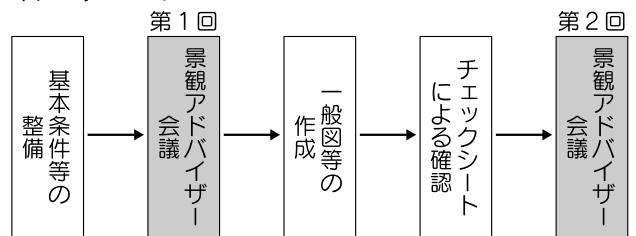
※新たな公共事業景観審査(仮称)の試行について

山梨県では公共事業における景観への配慮を推進する仕組みとして新しく公共事業景観審査を試行している。これまでと大きく異なる点は構想段階や設計初期の時点でアドバイザーとして参加すること等である。



※景観アドバイザー会議(仮称)について

一定規模以上の公共施設についてはチェックシートに基づく自己点検のほかに景観に関する専門家からなる景観アドバイザー会議に諮り指導助言を求める。



※山梨県景観アドバイザー活用事業とは

美しい県土づくりを推進するために県市町村が行う景観形成に関する勉強会や公共事業に対し、景観形成の観点から専門家が助言を行う事業。
担当部署：県土整備部美しい県土づくり推進室
<http://www.pref.yamanashi.jp/kendosui/ado baiza/adobaiza.html>

やまなし街路樹 フォトコンテスト作品募集

街路樹は、都市空間において良好な景観を形成すると共に、大気中の二酸化炭素(CO2)の削減、都市温暖化の抑制など、環境保全にも大いに役立っております。

こうした街路樹の果たしている役割に対し理解を深め、また大切さと必要性を再認識して頂くことを目的に実施いたします。

県内で、平成 25 年 4 月 16 日～平成 26 年 4 月 15 日

までの1年間に撮影された街路樹を題材とした未発表の写真を集めます。応募資格は特に設けませんので、どなたでも参加できます。

全作品は山梨県造園建設業会館において一定期間展示する予定です。入賞作品はホームページ及びメディア等で公開いたします。また、入賞作品は県下の公共施設(県庁防災新館・県立図書館等)において展示する予定です。

組合の動き

●平成25年度 第27回 通常総会開催●

平成25年5月24日(金) 午後3時から山梨県造園建設業会館において開催された。

司会者堤明伸理事が開会を宣し、小林稔蔵理事長の挨拶に続き、顧問の県議会議長浅川力三様から挨拶と激励の言葉をいただき、同じく顧問の県議会議員高野剛様の紹介をおこなった。続いて来賓の山梨県みどり自然課上島達史課長様及び山梨県中小企業団体中央会三枝幹夫事務局長様からそれぞれご祝辞をいただき、若尾会計事務所若尾和成所長様の紹介を行った後、議長に帯金岩夫副理事長が選任され審議に入った。

第1号議案 平成24年度事業報告・収支決算承認の件

事務局の説明の後、志村好啓監事が監査報告を行い、これを議場に諮ったところ異議無く満場一致で可決承認された。

第2号議案 平成25年度事業計画・収支予算決定の件

事務局説明の後、これを議場に諮ったところ同様に可決承認された。

第3号議案 総会議決事項委任の件

事務局説明の後、これを議場に諮ったところ同様に可決承認された。

第4号議案 定款の一部変更の件

相談役を置くことについて、事務局の説明の後これを議場に諮ったところ可決承認された。

第5号議案 役員選出の件

議場に諮ったところ指名推薦することとなり、選考委員により新役員が推薦された。これを議場に諮ったところ全員当選人として決定した。

<新理事>今井正行/小野訓孝/帯金岩夫/清水文一/杉村直英/辻宏幸/土屋潤一/堤明伸/埴原喜久男/藤原辰男/依田忠

<新監事>荻野あさ子/志村好啓

引き続き開催された理事会により、帯金岩夫理事長、依田忠副理事長、杉村直英専務理事が選出されたことが報告された。

帯金新理事長から挨拶があり、併せて小林前理事長が相談役に就任することが報告された。

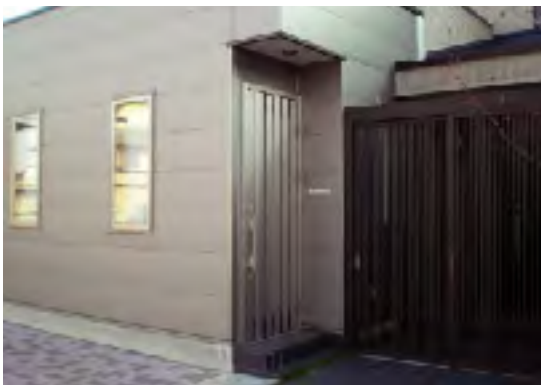
第6号議案 その他

議事となる意見等はなかった。

以上で議事が終了し、午後4時45分閉会した。

協会員・組合員めぐり

有限会社 サンリツ造園土木



代表取締役 土屋 潤一
所在地 中央市若宮 31-11

当社は、平成3年に造園を志す3名の共同経営により設立しました。3名で立ち上げたという想いを込め、商号を有限会社サンリツ造園土木として現在に至っております。

道路整備・河川整備・林道・農地整備など自然環境に関わること、公共的な建物や緑地空間(公園等)、また個人邸の外部空間など幅広く携わり豊富な実績を重ねています。工事の大小関係なく樹木1本からでも、造園の心を持ち、心休まる安らぎの空間を提供していけるように努力しています。

お客様はもちろん、仕事を通じて触れ合った人たちに、造園の考え方や素晴らしさを発信していけるよう、これからも社員一同日々勉強と努力をしていく所存です。

●平成25年度 関東甲信造園建設業協会協議会の開催●

日時■平成25年10月29日 12:30～17:30

場所■現地視察 ハッ場ダム

協議会 ホテル櫻井

参加者■約60名

.....
視察はハッ場ダム周辺施設を、群馬県ハッ場ダム水源地域対策事務所の方々にご案内いただきました。バスは湖面3号橋から湖面4号橋、JR吾妻線長野原草津口駅前、湖面2号橋を通過し。工事用道路より

湖面1号橋を下から(ダム完成時には水没してしまう場所)、地上約65m満水時の印が付いている橋脚を見ることが出来ました。川原畑地区の代替え地では移転して造成されている新しいまちを見学し、1号橋を見て解散となりました。

協議会は全体会議を行い、その後第1分科会から第3分科会に分かれ、それぞれのテーマで行われ、活発な意見交換が行われました。その後全体会議で総括を行い盛会の内に閉会しました。

青年部の活動

やまなしクリーンキャンペーンへの参加

平成 25 年 9 月 30 日甲府駅南口周辺にて青年部 21 人で花の種配布清掃活動を実施しました。

これは、身近の環境を整備し環境美化に努める活動として毎年恒例となっている山梨クリーンキャンペーンの一環として行われるもので、今年も参加協力いたしました。

当日は、森林環境部・森林環境総務課の協力を頂き JR 甲府駅南口にて花の種 1000 袋、街路樹フォトコンテスト、緑化センター・緑の感謝祭、クリーンキャンペーンチラシ等を駅利用者及び周辺住民等に配布し活動のアピールを行いました。

配布終了後には、県防災新館周辺まで清掃活動を行い周辺の美化に努め、花の種を配布することにより街の緑や花の大切さをアピールして 2 時間程度の活動を無事に終了することが出来ました。



作業終了後、全員で記念撮影

青年部研修旅行

平成 25 年 9 月 8、9 日の 2 日間、青年部研修旅行を実施いたしました。

今回の研修旅行は、鎌倉にてお寺に新設されたイングリッシュガーデン、在来の枯山水、竹林風景と苔庭を見学、2 日目には東京スカイバスに乗り東京駅から品川方面の街造りと景観、目黒・天空庭園を見学しました。



鎌倉浄妙寺イングリッシュガーデンは最近テレビにも取り上げられるスポットであり鎌倉の古き良き物と新しいチャレン

ジを感じる庭園でした。入り口からは鎌倉らしい落ち着いた感じの庭から始まり奥に進むと枯山水の日本庭園があります。そこでは、抹茶が頂ける喜泉庵があり、とてもイギリス風庭園があることが想像できない感じでした。

石窯ガーデンテラスと呼ばれるイギリス風庭園と建物、鎌倉の自然とお寺の組み合わせが、非常に良い組み合わせと感ずることが出来る庭園でした。

目黒天空庭園は、首都高速道路上部に造られた庭園でした。区役所出張所へ昇るエレベータに乗り区民サービスのフロアを抜け 9 階扉を開けるとそこは、まさに天空庭園、高速道路上部の屋上緑化、東京の町並みと遠くは富士山や東京タワーも見ることが出来る最高の公園でした。天空庭園内には、工事の状況等が記録されている管理事務所等も設置されており非常に興味深い構造・工法等が説明されていて非常に勉強になりました。

研修旅行を終えて ㈱アセラ技建 松木雄次

1 日目のメインの見学場所は、浄妙寺、鶴岡八幡宮でした。浄妙寺は、足利義兼が創建し、国指定史跡の 1 つ寺院です。寺院の中には、和風庭園である喜泉庵で喫茶する場所や、また洋館のガーデンテラスがありました。

次に見学した鶴岡八幡宮は、源頼義が創建したといわれる寺院で、観光スポットとして有名な寺です。当日は、日曜日ということもあり、多くの方が訪れていました。このなかで、一番興味をもったのが、職業上、いちようの木でした。3 年前程前に強風で倒れ、現在は、元のあった場所に隣に移植してあります。2～3 年前は、ひこばえが生えていたとういことも聞きましたが、現在は、あまり状況がよくないように見えました。

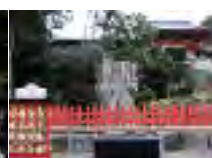
2 日目の最初に見学したのが、目黒天空庭園でした。これは、首都高速ジャンクション上にあるループ型の屋上緑化であり、面積 7000 m²と、サッカーグラウンド 1 個分ほどの大きさになります。展示室には、施工状況の写真があり、フレコン袋の量がたくさん

あったので、手間と時間を相当費やしたのではないかと感じました。また、風の影響を和らげるために、シラカンで高生垣状に仕立て、工夫した箇所が何点もあり、勉強になりました。山梨にもこういった公園を建設したら、もっと造園、庭園の魅力を県民の方にも感じられるのではないかと思います。

今回の研修旅行の日程表を見て、近場で今までに行ったことがあるような場所がいくつかあり、最初は気がのりませんでした。実際みんなと楽しくふれあうことや、研修といういつもと違う感性で見学することにより、とても充実した 2 日間をすごすことができました。



浄妙寺



鶴岡八幡宮



目黒天空庭園

平成25年度組合自主事業

山梨県造園建設業協同組合は山梨県緑化センターの指定管理者として、今日まで様々な自主事業を実施し、来園者数の増加を図ってまいりました。今後は新しい施設で一層創意工夫を重ね、県民の皆さんの期待に応えられるよう努めてまいります。

多くの県民の皆様方の暖かいご支援を引き続きお願いすると共に関係各位のご協力をいただき、管理運営の質を高め、新たな施設がより身近に感じていただけるよう役職員一同尽力してまいります。

●山梨グリーンフェア●



4月27日から2日間、山梨グリーンフェアを開催しました。

植木市には組合加盟32社が参加。樹木・草花・鉢物・園芸資材野菜苗等の販売を行いました。

また同時開催として「お茶会」も開催され、表千家古屋園恵先生（甲斐市文化協会）が亭主を務め、山梨県造園建設業協会事務局中村麗子さんが代表を務める中村麗声社中の奏でる琴の音色の中で子どもからお年寄りまで野点を楽しみました。2日間で約7,000人の来場者を集め賑わいました。

●各種展示会●

4月27日から2日間、山梨エビネ蘭研究会出展による「エビネ蘭展」、6月14日から3日間、山梨県羽蝶蘭保存会出展による「羽蝶蘭展」、10月26日から2日間、山梨遊心会出展による「秋を彩る盆栽展」、11月2日から2日間、山梨県春蘭愛好会出展による「葉を観る春蘭展」を開催しました。各展示会とも出展者の丹精込めて育てた作品に訪れた人は見入っていました。

平成26年1月16日～19日に「洋蘭展」、3月14日～16日に「花を観る春蘭展」の開催を予定しています。



●緑の感謝祭●



10月26日から2日間、緑の感謝祭を開催しました。組合員により樹木、花、園芸資材、農産物等の販売を行いました。その他「高所作業車乗車体験」・「もちつき大会」・「苗木格安コーナー」等も開催されました。

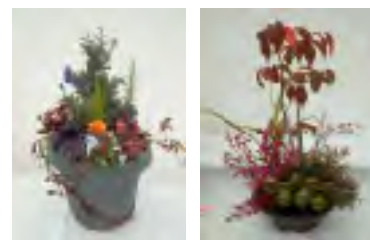
ショータイムでは、ご当地アイドルFUJI SAKURA塾・竜王みゆき連の踊り等6団体の出演により会場を盛り上げました。また同時開催として日本造園建設業協会山梨県支部による「全国造園フェスティバル2013」も行われ、来園者に花の種が配られました。来場者は約4,000人でした。

●寄せ植えコンテスト●

「秋を感じる寄せ植え」をテーマに第4回寄せ植えコンテストの作品を募ったところ、学生部門31点、一般部門34点合わせて65点の応募がありました。季節感・デザイン性・鉢と花のバランス等の観点から審査を行ない、知事賞以下18点の入賞作品が選ばれ、10月27日緑の感謝祭の会場で表彰式を行いました。

知事賞には学生部門で北杜高校チーム5、一般部門で北杜市の麻川京子さんの作品が選ばれました。

(写真左から学生部門知事賞、一般部門知事賞作品)



●みどりの写真コンテスト●



「第8回みどりの写真コンテスト」を開催するにあたり、6月から「樹木」「私の好きな庭」「風景」の3部門で作品を募集しました。その結果、銘木、奇木、花、印象に残る庭、山梨の豊かな自然を繊細な感性で捉えた優秀な作品等、197点の応募がありました。

山梨日日新聞編集局の鶴田圭吾先生を審査委員長として審査を行い、各部門の知事賞、優秀賞が決定され、11月15日から17日まで展示会を開催しました。

知事賞受賞作品は緑化センターに通年展示されています。

●その他研修会●

J A中巨摩東部、シルバー人材センター等4団体から依頼を受け「ガーデニング技能研修会」等の研修会を開催しました。

表彰等

協会

●都市緑化功労者表彰 (国土交通大臣表彰)

当協会・相談役、斉藤陽一氏は平成25年10月30日、東京都港区虎ノ門、日本消防会館で開催された平成25年度「ひろげよう育てようみどりの都市」全国大会において太田国土交通大臣から永年にわたる造園技術の継承や都市緑化事業の推進など都市緑化推進に顕著な功績があったとして都市緑化功労者国土交通大臣表彰を受けた。

斉藤陽一氏は、昭和47年3月に東京農業大学農学部造園学科を卒業と同時に山梨県甲府市富竹3-1-3に本社を置く富士緑化株式会社に入社し、造園技術の習得に研鑽を重ね、平成13年4月商号変更と同時に株式会社富士グリーンテック代表取締役専務となり平成18年8月より代表取締役社長に就任し現在に至っている。

また山梨県支部活動の原動力として活躍し、その手腕力量が高く評価され、平成17年4月より副支部長を1期2年務め、平成19年4月には(一社)日本造園建設

斉藤陽一 氏
(株)富士グリーンテック



業協会山梨県支部長に就任し現在に至っている。

この間、中央と地方の密接な連携を図りながら、支部組織の確立と業界の健全な発展向上、近代化による資質向上を目指し、技術者の育成や経営基盤の充実を図るための各種研修会を実施するなどその卓越した指導力を十分に発揮し、業界の健全なる発展と社会的地位の向上に貢献している。

一方緑化事業活動においては、都市緑化の普及啓蒙を図るため、支部長として県内造園業界を一体としてまとめ、国及び地方公共団体が推進する緑化施策には積極的に参加協力し、緑に対する思想の高揚、都市公園等の整備推進に尽力している。

この間、緑化による環境整備に積極的に取り組み、卓越した技法、技能を駆使して、大阪府茨木市の西河原公園、山梨県甲府市の小瀬スポーツ公園など大規模園地整備工事はもとより都市公園、運動公園、農村公園等の公園整備や道路緑化を数多く手がけ優れた業績を上げ、平成22年には(社)日本造園建設業協会・造園建設功労賞を受賞、同年、山梨県知事・環境緑化功労賞を受賞、平成24年には山梨県知事・建築文化賞を受賞している。



●山梨県環境緑化功労賞

平成25年10月19日、小瀬スポーツ公園において開催された平成25年度山梨県林業まつり記念式典において石原政人氏が山梨県環境緑化功労賞を受賞した。

氏は昭和58年3月に東京農業大学造園学科を卒業後、横浜市に本社を置く(株)小島造園に入社して造園技術の習得と研鑽を重ね、平成60年4月に会社を退社して実家である(株)石原グリーン建設に入社し昭和61年4月には取締役役に就任、平成12年からは代表取

石原政人 氏
(株)石原グリーン建設



締役社長に就任し現在に至っている。

この間、造園建設業の技術・地位向上や協会活動の原動力として幅広く活躍し、平成8年から甲府青年会議所理事、平成10年からは常任理事、平成15年には山梨県中小企業団体中央会理事に就任、同年から山梨県造園建設業協会青年部長に就任し以来理事、副会長を歴任し平成25年5月より会長として造園建設業の健全な発展向上と技術者の育成や経営基盤の充実を図るべく積極的に活動している。

また環境緑化活動に積極的に取り組み、卓越した技法、技能を駆使して協会青年部長時の平成16年に静岡県で開催された「フラワーフェスティバルしずおか2004」に出品した青年部の作品が銀賞を受賞するなど環境緑化に精励する氏の功績は多大である。



●(一社)日本造園建設業協会会長賞 (業績表彰)

当協会・理事、河野嘉孝氏は平成25年6月24日、グランドアーク半蔵門において開催された平成25年度(一社)日本造園建設業協会通常総会において、協会会長賞(業績表彰)を受けた。

河野氏は平成2年3月に東京農業大学農学部造園学科を卒業後、藤田観光工営(株)に入社し、平成6年7月からは河野造園土木(株)に就き、平成24年6月からは代表取締役役に就任し優れた造園技術と秀でた経営手腕を発揮して

河野嘉孝 氏
河野造園土木(株)



多くの卓越した業績を上げている。

氏は研究熱心で、高い技術力と豊富な感性を備え持ち、業績として平成6年には首都高速道路5号線高架下の緑化工事、平成11年には笛吹川フルーツ公園植栽工事、平成15年から平成24年までの10年間、甲府南アルプス線外道路植栽管理業務委託など多くの公共工事を手がけ、その一方で私邸造園工事など民間工事も多く手がけるなど、優れた技術力に裏打ちされたその出来栄えは高い評価を受けており、今回の日本造園建設業協会会長賞(業績評価)受賞となった。

また氏は平成23年から(一社)山梨県造園建設業協会・山梨県造園建設業組合青年部長、協会監事、協会理事として活躍すると共に若手技術者の育成に尽力を傾注するなど造園業界の牽引役として活躍中である。

表彰等

●建設雇用改善優良事業所 山梨県知事表彰

(株)石原グリーン建設
石原政人 氏



平成25年11月22日(金)、アピオ甲府で開催された山梨県建設雇用改善推進大会において(株)石原グリーン建設は建設雇用改善優良事業所として山梨県知事表彰を受けた。

同事業所は、雇用改善の重要性を不断に認識し、従業員に対する労働条件の明示や法の遵守さらに安全衛生管理等々に積極的に取り組み、定着率も高く、また雇用改善に関する講演会、講習会等に積極的に出席しており、永年に渡り協会理事を任じていることから、自ら雇用改善関係講習会等を企画立案し、当協会の雇用改善への取り組みの推進に努めていることが認められ今回の表彰となった。

●建設雇用改善優良事業所 山梨県建設産業団体連合会長表彰

(株)仲村造園
仲村清輝 氏



平成25年11月22日(金)、アピオ甲府で開催された山梨県建設雇用改善推進大会において(株)仲村造園が建設雇用改善優良事業所として山梨県建設産業団体連合会長賞を受けた。

同事業所は、雇用改善の重要性を不断に認識し、従業員に対する労働条件の明示や法の遵守さらに安全衛生管理等々に積極的に取り組み、定着率も高く、また雇用改善に関する講演会、講習会等に積極的に出席しており、永年に渡り協会理事を任じていることから、自ら雇用改善関係講習会等を企画立案し、当協会の雇用改善への取り組みの推進に努めていることが認められ今回の表彰となった。

●造園事業功労者

平成25年5月24日(金)、当協会会議室に於いて開催された平成25年度第1回定時社員総会の席上、右記3氏が「造園事業功労者」として表彰された。

各氏とも、会員会社の社員として造園事業に携わっているが、その功績が顕著であり他の模範であるとして表彰された。

五味 堅 氏
山梨ガーデン(株)



薬袋圭一 氏
(株)富士グリーンテック



矢崎智徳 氏
(株)富士グリーンテック



組合

●山梨県中小企業団体中央会表彰 組合功労賞

斉藤陽一氏は、平成25年6月3日、セレス甲府で開催された山梨県中小企業団体中央会第58回通常総会において、「全国組織の造園関係団体の要職に就き、技術及び知識の向上、情報の収集に取り組み、その経験を組合理事として運営に指導的役割を發揮し、組合員の雇用改善等に取り組んできた」功績に対して、中央会会長より組合功労者として表彰された。

斉藤陽一氏
(有)富士グリーンテック



お知らせ

「街路樹剪定士研修会・認定試験」等の開催について

本県の「街路樹剪定士の資格」取得者は165名(H24.4現在)に達しており、県内の街路樹整備等の分野において、樹木の生理・生態や街路樹に関する専門知識と伝統的な職人芸とも言える技能を併せ持ったスペシャリストとして大いに活躍している。

この資格は、近年、発注側にあっても重視する傾向が強まってきており、国、各都道府県及び市町村において街路樹剪定士の常駐や指導さらに見本剪定実施等を特記仕様書に明記する、また入札等の参加資格や評価項目とするところが増加している。

(一社)日本造園建設業協会山梨県支部では当協会の協力のもと、次のとおり開催を予定している。

■「街路樹剪定士資格更新研修会」

平成26年1月31日(金)開催

- 対象者：平成21年度の認定者(カード式認定証に有効期限が2014年3月31日と記載されている方)、有効期限後5年以内の方で、まだ更新手続きをされていない方。
なお、有効期限後5年以内に更新手続きを行わない場合は、資格は失効する。

■「街路樹剪定士研修会・認定試験」

平成25年2月13日(木)・14日(金)

- 受験資格：造園技能士2級以上(2級の場合は取得後2年以上の実務経験)
樹木の植栽工事又は剪定業務に直接従事した実務経験の合計が7年以上

なお、詳細について知りたい方は、(一社)日本造園建設業協会のホームページをご覧ください。

会 員 名 簿

(50音順)

会 社 名	代表者名	住 所	電話番号/FAX	E-mail/URL
(株)アセラ技建	埴原喜久男	甲府市蓬沢町1171	(055) 233-4617 (055) 233-4633	giken@acera-jp.com
(株)石原グリーン建設	石原 政人	甲府市高室町269	(055) 241-2001 (055) 241-0822	office@green21.co.jp http://www.green21.co.jp
(株)石和植木	齊藤 隆夫	笛吹市石和町川中島378	(055) 263-2070 (055) 262-4889	isawa@mbd.nifty.com
(有)今井ガーデン	今井 正行	甲府市里吉一丁目6-24	(055) 237-0027 (055) 226-8788	garden-imai.yugen@abelia.ocn.ne.jp
(株)雲松園	小林 稔蔵	北杜市小淵沢町3630	(0551) 36-2432 (0551) 36-4128	info@unshouen.co.jp http://www.unshouen.co.jp
(株)帯金造園	帯金 岩夫	甲府市池田二丁目11-12	(055) 251-4128 (055) 251-4194	office@obikane.co.jp http://www.obikane.co.jp
(有)荻野造園	荻野あさ子	甲府市伊勢四丁目1-12	(055) 235-4045 (055) 231-2020	ogino@peach.ocn.ne.jp http://www4.ocn.ne.jp/~ogino
(株)河口湖庭園	梶原 陽一	南都留郡富士河口湖町船津4940-1	(0555) 72-0635 (0555) 72-5435	yozan@kawaguchiko.ne.jp
(有)窪田造園	窪田 司	甲斐市中下条1673	(055) 277-2111 (055) 277-8881	kubotazouen@za.wakwak.com
河野造園土木(株)	河野 嘉孝	甲府市下飯田二丁目5-27	(055) 222-4396 (055) 222-0555	info@kzd.co.jp http://kzd.co.jp
甲南緑化(株)	岩田めぐみ	甲府市高室町721	(055) 241-6136 (055) 241-6135	kounan@maple.ocn.ne.jp
(株)三枝造園	三枝 正雄	富士吉田市松山1267-6	(0555) 22-1174 (0555) 22-2219	saigusazouen@r4.dion.ne.jp
三協造園(株)	八木 幸彦	西八代郡市川三郷町市川大門4796	(055) 272-6000 (055) 272-7777	sankyouzouen@beetle.ocn.ne.jp http://www.sankyo-ls.co.jp
(有)サンリツ造園土木	土屋 潤一	中央市若宮31-11	(055) 273-8644 (055) 273-8633	sanritsu-2006@topaz.plala.or.jp
(有)敷島緑化土木	石水 通由	甲斐市島上条1664	(055) 277-2530 (055) 277-8311	sryokkas@cronos.ocn.ne.jp http://www15.ocn.ne.jp/~sryokkas/
(有)清水造園	清水 文一	甲府市里吉一丁目7-21	(055) 233-9748 (055) 233-9758	shimizu.z@sea.plala.or.jp
(株)芝 保	藤原 辰男	甲府市貢川本町18-20	(055) 237-7000 (055) 224-5555	shib0377@peach.ocn.ne.jp http://www3.ocn.ne.jp/~shibaho
(有)志村樹苗園	志村 好啓	甲府市緑が丘一丁目4-4	(055) 253-6983 (055) 253-6985	shimura.sdv4@rouge.plala.or.jp
(有)須田造園	須田 良英	笛吹市八代町米倉729	(055) 265-2452 (055) 265-3691	suda@arion.ocn.ne.jp http://www.land-s.co.jp
中央造園土木(株)	今村 尚人	甲府市德行一丁目9-27	(055) 226-4525 (055) 226-4573	info@chuouzouen.co.jp http://chuouzouen.co.jp
辻緑化土木(株)	辻 宏三	甲府市朝気三丁目3-16	(055) 233-9545 (055) 233-9542	info@tsuji28.net http://www.tsuji28.net
(株)津々美造園	堤 明伸	甲府市愛宕町146	(055) 253-2188 (055) 253-7835	tsutsumi@mx10.ttcn.ne.jp http://www.tsu2mi.com
(有)東香園	名取 満	南アルプス市十日市場1828-1	(055) 282-0970 (055) 282-0952	tou-kou@eps4.comlink.ne.jp
(株)仲村造園	仲村 清輝	北杜市明野町小笠原3838	(0551) 25-2348 (0551) 25-2439	naka-la1@aurora.ocn.ne.jp
野尻造園建設(有)	野尻 積道	韮崎市穂坂町宮久保5122-2	(0551) 22-0615 (0551) 22-2531	h-nojiri@amber.plala.or.jp
富士観光開発(株)	志村 和也	南都留郡鳴沢村字富士山8545-4	(055) 273-5753 (055) 273-4919	kensetsu@fujikanko.co.jp http://www.fuji-net.co.jp/
富士急建設(株)	梶原 実	富士吉田市新西原五丁目2-1	(0555) 22-7151 (0555) 22-7153	fken@fujikyuu-kensetsu.co.jp http://www.fujikyuu-kensetsu.co.jp
(株)富士グリーンテック	齊藤 陽一	甲府市富竹三丁目1-3	(055) 236-1600 (055) 224-5520	fujit@mx.mesh.ne.jp http://www.fujigreentech.jp/
(株)明桃園	小林 洋	南アルプス市桃園968	(055) 282-4128 (055) 282-4190	meitoen@khaki.plala.or.jp
山梨ガーデン(株)	依田 忠	南巨摩郡富士川町最勝寺1514	(0556) 22-4181 (0556) 22-2359	y.garden@cronos.ocn.ne.jp
(有)山宮造園	山宮 一哲	甲府市大里町3608	(055) 241-2256 (055) 241-2078	yamamiya@kvj.biglobe.ne.jp
(有)吉井造園	吉井 公人	甲斐市西八幡4044-6	(055) 276-0470 (055) 230-6322	yoshii-zouen@ag.wakwak.com